

実感  
理解  
実践

## ミニ百年記念館「アカゲラのくらし」 ～アカゲラを通しておびひろの自然を考える～



講義

見学

体験



身のまわりでよく見られる鳥「アカゲラ」。実物資料を用いてアカゲラの生態や、他の生きもののかかわりを学びます。

ねらい



自然・動植物

身近な生きものについて理解を深める  
環境を大切にする心を育てる

場所 教室

季節 通年

人数 1クラス程度

所要時間 45分

対象 小学生以上

申込期限 2週間前まで

連絡先

帯広市教育委員会 生涯学習部 生涯学習文化室 百年記念館  
電話：0155-24-5352 FAX：0155-24-5357  
E-mail：museum@city.obihiro.hokkaido.jp

実感  
理解  
実践

### 関連単元【例】

学年	科目・領域等	内容
小学校	総合学習	○身近な環境問題に関する調べ学習
	道徳	○生命尊重 ○自然愛、環境保全
中学校	理科	○生物と環境

### ながれ

#### 導入 (5分)

勉強する「ある生きもの(アカゲラ)」について

まず帯広に住んでいる数種類の生きものについてパズルを解いてもらいます。その中から、木に穴をあける動物(アカゲラ)を探し出してもらいます。謎を解きながら授業を進めていきます。



「ある生きもの」とは？

#### 展開 (30分)

アカゲラのくらしについて、はく製などの実物資料に触って理解

木にとまる(10分) 身体の仕組みをはく製を用いて解説します。尾羽に触って実感してもらいます。木に穴をあける(20分)

なぜ木に穴をあけることができるのか？忍者の道具によく似ている「ある部分」に注目。

穴をあける理由も一緒に考えます。本物の巣も登場。

『わくわく・楽しい』という気持ちで子どもの興味を引きだすきっかけになることを期待して、実物資料に触れ、観察するという「体験」を重視しています。



実物資料に触れながら学習

#### まとめ (10分)

アカゲラがいることで、林の生きものが多くなる！？

アカゲラが作った巣(樹洞)を利用する動物を紹介。自然のなかでの生きものつながり、大切さを学びます。終了後は、質問や資料をもう一度見たり、触る時間を設けます。



アカゲラを通して自然環境について考えます。

#### 参加者コメント

○写真やはく製や巣などを見ることができて、視覚的にも学ぶことができてとても楽しかったです。(図書館職員)  
○身近に知っているようで知らない動物ということで、子どもたちも興味をもって聞いていました。(小3教諭)

#### 持ち物

特にありません。  
資料に触ることがありますので、事後の消毒・手洗いに配慮願います。

#### 特記事項

○進行上「アカゲラ」について勉強することは、子どもたちに絶対内緒にしてください。子どもたちには「帯広の生きもの」について勉強すると伝えてください。  
○基本的に2人の職員で授業を行います。場合によっては担任の先生に手助けをいただくこともあります。担任の先生以外の見学も大歓迎です。

#### このプログラムを活用した方へのオススメ！プログラム

- 【実感】2 ふれあい教室(動物園)
- 【実感】3 自然観察(帯広の森・はぐくむ)